

横浜港におけるアカカミアリの確認について

令和2年10月6日(火)に大黒ふ頭のコンテナ内で発見されたアリ(約200個体)及び10月7日(水)に本牧ふ頭で発見されたアリ(約10個体)について、環境省が依頼した専門家及び環境省による種の同定の結果、10月7日(水)に特定外来生物であるアカカミアリと確認されました。

アカカミアリが確認されたコンテナをくん蒸しながら、アカカミアリが確認された地点周辺では殺虫餌(ベイト剤)及びトラップを設置しています。

引き続き、環境省等と協力して、アカカミアリが確認された地点を中心に調査及び防除を実施していきます。

なお、アカカミアリが確認された地点周辺は、一般の方が立ち入ることができないエリアです。また、本件に関して人的被害はありません。

1 経緯

- 9/8 インド ムンドラ港から当該コンテナを積載したコンテナ船が出港。
(マレーシア ポートケラン港にて別船に積替え)
- 10/4 当該コンテナを積載したコンテナ船が本牧ふ頭に入港。当該コンテナを陸揚げ。
- 10/5 当該コンテナを本牧ふ頭から大黒ふ頭の倉庫作業場に陸送。
- 10/6 事業者がコンテナから荷下ろし作業中に、コンテナ内にヒアリ類と疑わしいアリを発見したため、コンテナの扉を閉鎖。事業者から神奈川県を通して横浜市へ通報。事業者が当該コンテナ内の貨物に対してくん蒸を実施。
アリのサンプルを横浜市が確認したところ、アカカミアリの疑いがあったため、横浜市から環境省関東地方環境事務所に通報。
当該コンテナ周辺に、横浜市職員が、殺虫餌(ベイト剤)及びトラップを設置。
環境省関東地方環境事務所が専門家に同定を依頼。
- 10/7 当該コンテナが陸揚げされた本牧ふ頭のコンテナヤードを横浜市職員が調査し、アカカミアリと疑わしいアリの存在及び舗装の継ぎ目への出入りを確認。当該コンテナが置かれた箇所周辺には、殺虫餌(ベイト剤)及びトラップを設置。
大黒ふ頭の当該コンテナ内で10/6に発見されたアリについて、環境省が依頼した専門家によりアカカミアリと確認。
本牧ふ頭のコンテナヤードで新たに見つかったアリについても、環境省がアカカミアリであることを確認。
横浜市から地元関係団体、関係事業者等に注意喚起。

2 今回確認されたアリについて

大黒ふ頭の当該コンテナ内で確認されたアリは、アカカミアリの働きアリ約200個体、サナギ4個体です。本牧ふ頭のコンテナヤードで確認されたアリは、アカカミアリの働きアリ約10個体です。

3 今後の対応

横浜市は引き続き、環境省等と協力して、アカカミアリが確認された地点を中心に調査及び防除を実施していきます。

4 事業者の皆様へ

(1) 注意点について

- ・アカカミアリを刺激すると刺される場合があります。
- ・アカカミアリと疑われるような個体や巣を見つけた際は、刺激（アリを踏もうとしたり、巣を壊したり等）しないでください。

(2) 刺されたときの対応について

- ・まずは安静（20～30分程度）にし、容体が急激に変化することがあれば、最寄りの病院を受診してください。
- ・受診の際は、「アリに刺されたこと」「アナフィラキシー（重度のアレルギー反応）の可能性が有ること」を伝えてください。

(図) 今回アカカミアリが発見された場所



(写真) 今回確認されたアリ

(横浜市環境科学研究所撮影)



大黒ふ頭で確認されたアカカミアリ



本牧ふ頭で確認されたアカカミアリ

お問い合わせ先

(特定外来生物一般に関する事)	環境創造局政策課環境プロモーション担当課長	池谷 庸子	Tel 045-671-3830
(アカカミアリの簡易判断に関する事)	環境創造局環境科学研究所長	百瀬 英雄	Tel 045-453-2550
(港湾施設における対応に関する事)	港湾局管財第一課長	鈴木 康弘	Tel 045-671-7179